

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年1月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長崎市	代表者名	内山武司
担当者部署	市立図書館	連絡先電話番号	095-829-4930
担当者役職		担当者氏名	
住所	850-0032 長崎県長崎市興善町1番1号		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浅野 隆夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザーは、豊富な知識をお持ちであり、当館が抱える課題を整理していただき、非常に有益な助言をいただきました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月20日	10時00分	16時00分	90	270
3-2. 派遣場所	会場名	長崎市立図書館		最寄駅	長崎駅
	所在地	長崎市興善町1番1号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員(4名)、企業(2名)	人数 6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	開館から12年を経過した長崎市立図書館について (1) 今後の在り方についての検討 (2) 今後予定される大規模改修等に向けた検討	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	(1) 長崎市の特性にあった新しい機能の導入 ① 長崎市においても、本市の特性にあわせた同様の取組みを行う。 ② 機能的な図書館の運営方法やスタッフの育成方針を導入する。 (2) 中央館としての機能を継続しながら分館等への支援実施	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	(1) 札幌市の図書行政や図書館・情報館の取組みを交えてのアドバイス (2) 現在のサービスについて、規模が小さくなくても市民サービスを止めない理由とその方策	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	(1)-1 図書館が交流の拠点となるための取組みについて (1)-2 テーマに沿った選書について (1)-3 セルフレファレンスへの誘導について (2)-1 中央館としての機能の継続方法 (2)-2 代替手段を準備する場合の考え方 (2)-3 ICTのさらなる活用	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	支援を受け改善するための取組みや準備行為のうち、長崎市で実践する形づくり。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 支援の打合せのため、参加者への個別ヒアリングで済ませたため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	長崎市立図書館の特性にあった新しい機能を導入し、図書館を交流の出発点にする。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

